

管理番号	177
がん腫	卵巣
レジメン名	TC+B-mab
1 コース日数	21 日
催吐性リスク分類	高度

催吐性リスク分類	使用制吐剤
高度	Day1 : ホスアプレピタント注 150mg 又は アプレピタント Cap125mg+パロノセトロン注 0.75mg+デキサメタゾン注 9.9mg Day2-3 : アプレピタント Cap 80mg 1×朝食後+デキサメタゾン錠 4mg2 錠 2×朝昼食後 ⇒APR は day1 に cap を投与した場合のみ
中等度	Day1 : パロノセトロン注 0.75mg+デキサメタゾン注 9.9mg Day2-3 : デキサメタゾン錠 4mg2 錠 2×朝昼食後
軽度	Day1 : デキサメタゾン注 6.6mg
最小度	なし

・治療スケジュール

薬剤名	投与量	投与時間	日数																				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
ジフェンヒドรามミン錠	50mg1×	PTX 投与 30 分前	●																				
制吐剤(iv.) ファモチジン	20mg	30 分	↓																				
パクリタキセル	175mg/m ²	180 分	↓																				
カルボプラチン	AUC5	60 分	↓																				
ベバシズマブ	15mg/kg	90 分 ^{*1}	↓																				

・備考

※アプレピタントは、内服薬を使用。

※1 : 初回は 90 分、忍容性があれば 2 回目は 60 分、3 回目以降は 30 分に短縮可能。

本レジメンは、再発・再燃かつプラチナ感受性の卵巣がんのレジメンである。B-mab は 1 コース目から投与、7 コース目以降も TC を投与する。化学療法未治療患者対象のレジメンではない (治療スケジュール、CBDCA の投与量が異なる)。